

# ／ 話題がいっぱい ／ なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい＝ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



## 12/26～28 中学生平和交流団、宮崎県日向市を訪問

浦添市中学生平和交流団が、浦添国民学校の児童が疎開した宮崎県日向市を訪れ平和学習を行いました。日向市内の戦跡巡りや疎開を受け入れた人の体験談を通して戦時中の日向市の様子を学び、日向中学校との交流会では、平和に対する考えや意見を伝え合いました。

団員の港川中学校2年の宜志富こみさんは「疎開した児童たちが過ごした日向市の厳しい冬の寒さと、沖縄以外の戦争の実態を学ぶことができ、とても貴重な経験だった」と振り返り、改めて戦争の悲惨さと平和の尊さを感じていました。団員は今後ピースメッセンジャーに認定され、平和を発信する担い手として活動します。



## 12/18 てだこ大使就任&SNS活用トークイベント

てだこ大使2021とてだこ大使スペシャルサポーターの就任式、またSNSを活用したインフルエンサー育成トークイベントが開催されました。

今回、てだこレディからてだこ大使に名称を変え、新たに糸数なずなさん、本村杏珠さん、宮城あずささんが選出されました。てだこレディからたすきを引き継いだ本村さんは「選ばれた3名で県内外に浦添の魅力を発信していきます」と抱負を語りました。

トークイベントでは、情報発信手段としてSNSが重要視される中、YouTubeで注目されるお笑い芸人の岡田康太さんらが活用のポイントについて意見を交わしました。



## 12/27 ゆし豆腐作りを体験

地域の子もたちが森の子児童センターでゆし豆腐作りを体験しました。繁多川公民館職員や浦添青年会議所の皆さんに教わりながら、子どもたちは石臼で水につけられた生大豆をすりつぶして、布に入れて絞り、豆腐の元となる汁とおからに分けました。

主催した大城喜江子さんは「子どもたちに自然で濃厚な豆腐の味わいを感じてほしかった。コロナの影響もあり、企画から2年越しだったが無事に開催出来てよかった」と話し、子どもたちは出来たてのゆし豆腐汁を食べて「美味しい」と言いながら満足そうな表情を見せました。



## 1/7 2022年ソデイカ初水揚げ！

今年もソデイカの初水揚げが牧港漁港で行われました。ソデイカは宮古・石垣の海域や、大東島海域という遠方の漁場で漁獲される大型のイカです。

牧港漁港は県内でも有数の水揚げ量を誇りますが、軽石の影響で出漁できない日が続いていました。そこで、軽石がない場所を漁業者間で情報共有しながらソデイカ漁を行っています。

今年初水揚げを行った新垣武司さんは「今期は例年よりソデイカのサイズは小さいものの、漁獲量は悪くない」と話します。皆さんも、牧港漁港内の浦添宜野湾漁業協同組合事務所で買える美味しいソデイカをぜひ召し上がってみてはいかがでしょうか。



## 12/18 JICA沖縄「SDGsフォトコンテスト」表彰式

JICA沖縄主催「第1回SDGsフォトコンテスト」が開催され、沖縄県知事賞に浦添中学校ボランティア委員会の作品『みんなで救う命とキャップ 救える命をこぼさない』が、浦添市長賞にアメリカ在住のナカマ富士香さんの『ヤドカリと僕』が選ばれました。

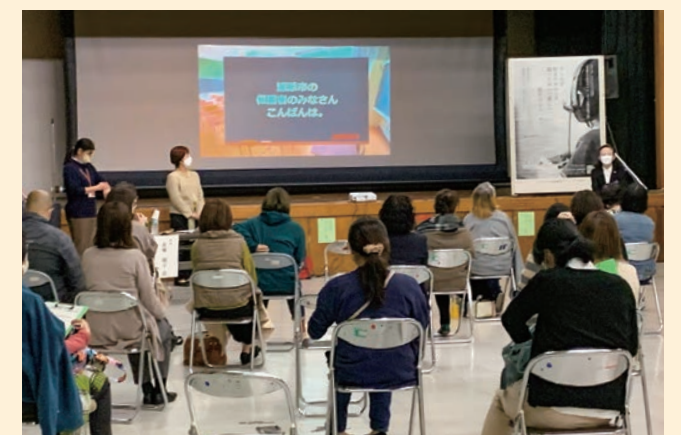
表彰式で、松本市長がナカマさんの作品に対し「何気ない場面に沖縄の宝、SDGsの大切なものが凝縮されている」と講評すると、ナカマさんは「表現したいことが伝わり光栄」と笑顔を見せました。JICA沖縄・倉科所長は「SDGsの多様な取り組みに未来への可能性を感じた」とコンテストの成功を喜びました。



## 12/17 みんなで成し遂げたワクチン接種

浦添市が令和3年6月から11月まで実施した新型コロナウイルスワクチン集団接種会場において、商品の寄贈やボランティア派遣等、接種に関して協力いただいた企業・団体に浦添市長より感謝状が贈呈されました。多くの企業・団体の皆さま、ご協力ありがとうございました。

【主な協力団体】  
○沖縄明治乳業 ○野嵩商会(ユニオン)  
○大塚製薬 ○県建設業協会  
○県建設業協会浦添西原支部  
○浦添青年会議所 ○浦添商工会議所青年部  
○浦添市社会福祉協議会 ○地域包括支援センター  
○湘央学園浦添看護学校 ○浦添市内自治会 他



## 12/17 家庭でできるスマホ・ゲーム依存症予防

コロナ禍の長期休校や外出自粛で、長時間にわたるスマートフォンの使用やゲーム時間の増加が問題視される中、小中学生の保護者など35人が、あなたに伝えたい市民講座「スマホ・ゲーム依存症予防について」を受講しました。講座では、講師の金城明子さんと大田房子さんがスマートフォンの使い方やその問題点、依存についてそれぞれの視点で話しました。

受講者は「改めてSNS投稿の危うさを知った」、「受講後、家族でルールを話し合いました」などの感想が寄せられ、スマートフォンの使い方の見直しや家族のコミュニケーション作りのきっかけとなりました。